

空手界年表

江戸末期	18世紀	琉球王国の伝説的武人(唐手家、槍術) 西平 親方
江戸末期	18世紀	琉球王国の伝説的武人(唐手家) 具志川 親方
江戸末期	不詳から 1867年	琉球王国時代の武人「唐手の祖」、「佐久川の棍」を創作 佐久川寛賀
江戸期 文化06年	1809年	琉球王国時代の武人であり「首里手系の祖」 松村宗棍生誕
江戸期 文政10年	1827年	首里手の大家 安里安恒生誕
江戸期 文政12年	1829年	泊手中興の祖 松茂良興作生誕
江戸期 天保02年	1831年	唐手の近代化に着手した 糸洲安恒生誕
江戸期 天保07年	1836年	村松宗棍 佐久川寛賀と共に北京に渡り中国武術を学ぶ
江戸期 弘化04年	1847年	唐手家 新垣世璋生誕
江戸期 嘉永06年	1853年	那覇手中興の祖 東恩納寛量生誕
江戸期 慶応03年	1867年	唐手の祖 佐久川寛賀死去
明治元年	1868年	松濤館流創始者 船越義珍生誕
明治03年	1870年	戦前の唐手の大家 喜屋武朝徳生誕
明治03年	1870年	日本傳流兵法本部拳法(本部流)創始者 本部朝基生誕
明治10年	1877年	上地流創始者 上地完文生誕
明治14年	1881年	本部朝基 糸洲安恒に師事
明治18年	1885年	小林流創始者 知花朝信生誕
明治20年	1887年	東恩流の創始者 許田重発生誕
明治21年	1888年	剛柔流創始者 宮城長順生誕
明治22年	1889年	糸東流創始者 摩文仁賢和生誕
明治25年	1892年	和道流創始者 大塚博紀生誕
明治31年	1898年	泊手中興の祖 松茂良興作死去(享年69歳)
明治32年	1899年	首里手系の祖 松村宗棍死去(享年91歳)
明治32年	1899年	知花朝信 15歳で糸洲安恒に弟子入りする
明治36年	1903年	首里手の大家 安里安恒死去(享年76歳)
明治37年	1904年	上地完文 パンガキヌーン(半硬軟)拳法免許皆伝
明治38年	1905年	日本拳法空手道創始者 山田辰雄生誕

明治38年	1905年	糸洲安恒 沖縄の学校教育に空手を導入
明治39年	1906年	松濤館設立者 船越義豪生誕
明治40年	1907年	松林流創始者 長嶺将真生誕
明治40年	1907年	上地完文 福建省南靖で、パンガキヌーン拳法社という道場を開設
明治42年	1909年	全日本空手道剛柔会創始者 山口剛玄生誕
大正02年	1913年	松濤館流の中興の祖 中山正敏生誕
大正04年	1915年	唐手の近代化に着手した 糸洲安恒死去(享年84歳)
大正04年	1915年	那覇手中興の祖 東恩納寛量死去(享年62歳)
大正11年	1922年	船越義珍 東京で型の演武を行い、本土普及の足がかりとなる
大正11年	1922年	大塚博紀 早稲田大学在学中、滞在中の船越義珍に2年間師事
大正11年	1922年	本部朝基 京都で外国人ボクサーを倒す
大正12年	1923年	本部朝基 「唐手術普及会」を結成(大阪市)
大正12年	1923年	極真会館創始者 大山倍達生誕
大正13年	1924年	山田辰雄 本部朝基の「唐手術普及会」に入門
大正15年	1926年	本部朝基 「沖縄拳法唐手術組手編」を出版
昭和元年	1926年	山田辰雄 本部朝基の「唐手術普及会」の師範代となる
昭和元年	1926年	船越義珍 「空手道教範」を刊行する
昭和02年	1927年	講道館の嘉納治五郎 嘉納治五郎が沖縄を視察し、宮城長順・摩文仁賢和らが演武を披露した
昭和03年	1928年	宮城長順 京都帝国大学で武術講習会を行った
昭和03年	1928年	大塚博紀 上京してきた摩文仁賢和に師事
昭和04年	1929年	唐手家 新垣世璋死去(享年80歳)
昭和04年	1929年	摩文仁賢和 大阪に移住し空手の指導を開始する
昭和04年	1929年	大塚博紀 本部朝基に師事
昭和04年	1929年	大塚博紀 本部朝基に師事
昭和06年	1931年	国際松濤館空手道連盟宗家 金澤弘和生誕
昭和06年	1931年	摩文仁賢和 糸東流設立
昭和06年	1931年	長嶺将真 喜屋武朝徳に師事
昭和08年	1933年	知花朝信 小林流設立

昭和11年	1936年	長嶺将真 本部朝基に師事
昭和11年	1936年	唐手座談会 「唐手」の名称を「空手」に変更について議論される
昭和18年	1943年	大山倍達 船越義珍に師事
昭和19年	1944年	日本傳流兵法本部拳法(本部流)創始者 本部朝基死去(享年74歳)
昭和19年	1944年	芦原会館創始者 芦原英幸生誕
昭和20年	1945年	戦前の唐手の大家 喜屋武朝徳(享年75歳)
昭和20年	1945年	松濤館設立者 船越義豪死去(享年39歳)
昭和23年	1948年	上地流創始者 上地完文死去(享年71歳)
昭和23年	1948年	日本空手協会設立(JKA) 松濤館流の技術と精神を継承・普及することを目的
昭和24年	1949年	大道塾創始者 東孝生誕
昭和27年	1952年	糸東流創始者 摩文仁賢和死去(享年63歳)
昭和28年	1953年	剛柔流創始者 宮城長順死去(享年65歳)
昭和29年	1954年	大山倍達が剛柔流の一道場として 極真会館の前身となる「日本空手道極真会大山道場」を設立
昭和30年	1955年	山田辰雄 「日本拳法空手道」の道場を開設
昭和31年	1956年	大山倍達 大東流合気柔術の吉田幸太郎から合気柔術とステッキ術を学ぶ
昭和32年	1957年	日本空手協会(JKA)主催(寸止めルール) JKA…松濤館流 「第一回全国空手道選手権大会」開催
昭和32年	1957年	松濤館流創始者 船越義珍死去(享年89歳)
昭和33年	1958年	大山倍達 「What is Karate?」を刊行 ※世界で25万部のベストセラーとなる
昭和34年	1959年	山田辰雄(日本拳法空手道) グローブ着用による直接打撃制の空手競技を考案・発表
昭和36年	1961年	芦原英幸 大山道場(極真会館)に入門し、大山倍達に師事
昭和39年	1964年	大山倍達 松濤館と剛柔流の技術体系を基盤として「極真会館」を設立
昭和39年	1964年	全日本空手道連盟(JKF)設立 松濤館流、剛柔流、糸東流、和道流、および錬武会(防具付)、連合会(諸派)
昭和42年	1967年	日本拳法空手道創始者 山田辰雄死去(享年62歳)
昭和43年	1968年	東恩流の創始者 許田重発死去(享年81歳)
昭和43年	1968年	極真会館創始者大山倍達 日本国籍取得
昭和44年	1969年	小林流創始者 知花朝信死去(享年84歳)
昭和44年	1969年	極真会館主催(無差別級フルコンタクトルール) 第一回オープントーナメント全日本空手道選手権大会を開催(10月開催)
昭和44年	1969年	全日本空手道連盟(JKF)主催(寸止めルール) 第一回全日本空手道選手権大会開催(12月開催)

昭和46年	1971年	東孝 極真会館入門し、大山倍達に師事
昭和50年	1975年	極真会館主催(無差別級フルコンタクトルール) 第一回オープントーナメント世界空手道選手権大会を開催
昭和51年	1976年	大山倍達 「秘伝極真空手」を、翌年「続秘伝極真空手」を刊行する
昭和55年	1980年	芦原英幸 芦原会館設立
昭和56年	1981年	東孝 大道塾設立
昭和57年	1982年	和道流創始者 大塚博紀死去(享年90歳)
昭和62年	1987年	松濤館流の中興の祖 中山正敏死去(享年74歳)
平成元年	1989年	全日本空手道剛柔会創始者 山口剛玄死去(享年80歳)
平成06年	1994年	極真会館創始者 大山倍達死去(享年71歳)
平成07年	1995年	芦原会館創始者 芦原英幸死去(享年51歳)
平成09年	1997年	松林流創始者 長嶺将真死去(享年90歳)
令和元年	2019年	国際松濤館空手道連盟宗家 金澤弘和死去(享年88歳)
令和03年	2021年	大道塾創始者 東孝死去(享年72歳)